

## 第5回「日経SDGs経営調査」における 「SDGs経営」総合ランキングで5年連続最高位にランクイン

キリンホールディングス株式会社（社長 磯崎功典）は、第5回「日経SDGs経営調査」における「SDGs経営」総合ランキングにおいて、最高位である「★★★★★」（偏差値70以上）に2019年の第1回より5年連続でランクインしました。「日経SDGs経営調査」は、日本経済新聞社が毎年実施しており、企業による事業を通じたSDGsへの貢献と企業価値の向上につなげる取り組みを評価する調査です。本年も昨年同様「SDGs戦略・経済価値」「社会価値」「環境価値」「ガバナンス」の4つの分野で評価が行われました。

当社は、長期経営構想「キリングroup・ビジョン2027(以下、KV2027)」において、「食から医にわたる領域で価値を創造し、世界のCSV<sup>※1</sup>先進企業となる」ことを目指しています。社会と価値を共創し持続的に成長するための指針である「キリングroup CSV パーパス(以下、CSV パーパス)」の実現に向けてグループ全体でCSV経営を推進し、社会的価値に加えて事業を通じた経済的価値の創出にも取り組んでいます。「酒類メーカーとしての責任」「健康」「コミュニティ」「環境」それぞれの社会課題の解決に取り組むことを通じて、当社はSDGsへの貢献を目指してきました。

※1：Creating Shared Valueの略。お客様や社会と共有できる価値の創造

### ■キリングroup CSV パーパス



一例として、「環境」では、「キリン 午後の紅茶」の主要な原料生産地であるスリランカにおいて、2013年からスリランカの紅茶葉農園への「レインフォレスト・アライアンス認証」<sup>※2</sup>取得支援の取り組みを継続的に行っています。2021年には、スリランカ産の認証取得茶葉を使用した「キリン 午後の紅茶 ストレートティー」250ml 紙(LLスリム)を発売し、2022年末までに94の大農園、120の小農園が認証を取得しました。認証取得を支援した一部の農園のデータによると、肥料や農薬の適正利用などによる支出削減で農園の収益性が向上し、労働者の疾病率が減少するなど、認証取得支援が農園の経営や農民の生活の質向上にもつながっています。

※2：自然と作り手を守りながら、より持続可能な農法に取り組むと認められた農園に与えられる認証 <https://www.rainforest-alliance.org/lang/ja>  
今回の調査では、このような取り組みを評価いただいたと考えており、今後も各事業での取り組みを加速させ、CSVパーパスの実現を目指していきます。

キリングroupは、「酒類メーカーとしての責任」を果たし、「健康」「コミュニティ」「環境」という社会課題に取り組むことで、こころ豊かな社会を実現し、お客様の幸せな未来に貢献します。

### ■参考

- ・キリングgroup CSV パーパス [https://www.kirinholdings.com/jp/purpose/csv\\_purpose/](https://www.kirinholdings.com/jp/purpose/csv_purpose/)
- ・キリングgroup CSV コミットメント [https://www.kirinholdings.com/jp/impact/csv\\_management/commitment/](https://www.kirinholdings.com/jp/impact/csv_management/commitment/)
- ・キリングgroup環境ビジョン2050 <https://www.kirinholdings.com/jp/impact/env/mission/>

### (お客様お問い合わせ先)

キリンホールディングス株式会社 お客様相談室 (フリーダイヤル) 0120-770-502  
企業情報 Web サイト <https://www.kirinholdings.com/>